

令和元年度瓦のふるさと公園指定管理者モニタリング結果

施設名	瓦のふるさと公園
所在地	愛媛県今治市菊間町浜3067番地
指定管理者	<p>名 称 菊間町窯業協同組合</p> <p>代表者 代表理事 濱田成一</p> <p>住 所 愛媛県今治市菊間町浜228-4</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
担当部課(問合せ先)	<p>都市建設部 公園緑地課</p> <p>TEL : 0898-36-1563</p> <p>E-mail : kouen@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	B	施設の設置目的や事業内容に理解を深め適切な管理運営に努めました。	B	施設の設置目的をよく理解して各事業を実施できている。また、施設の管理運営も設置目的に沿った運営が行われている。
利用状況	C	観覧者・体験者数ともに減少となりました。3月の遠足シーズンの団体のキャンセルが一番の要因ですが、年間を通しての集客の催しがマンネリ化しているのがあると思います。次年度以降、新しい企画を練り実行したいと考えています。	B	かわら館、実習館ともに利用者数が減少しており、厳しい結果となったが、自主事業の来園者は昨年並みを維持した。新型コロナウイルスの影響もあったと思うが、館内の展示替を行う以外に、新しいイベントの開催や積極的な広報活動を行い、利用者の増加につながるような取組に期待する。
事業収支	B	適正に会計処理が行われたと思います。今後も無駄を省くとともに、新しい企画を考えると同時に、一層の自主事業の拡充や定期的な展示品の入替えを実施して利用者を増やすことにより収益を伸ばして行きたいと思っています。	B	無駄を省くことにより経費削減が行なわれ、利益が出ている。施設を充実させるためにも、積極的に利益を施設の修繕や備品購入に充てていただくことを希望する。また、利用者の増加による利用料金収入及び自主事業による収入の増加を期待したい。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
管理運営体制	B	効率的な人員配置で、運営出来たと思いますが、今後とも組織内研修や派遣研修を充実させて かわら館及び公園運営に取り組んでいきたいと思っています。	B	年間を通じ仕様書で定めた職員体制により適正な管理運営体制が確保できている。職員研修は積極的に行っているが、受講者の選定は慎重に行い、費用の削減に努めてほしい。
管理運営業務	B	仕様書に定めた通り 各項目において適切に実施されたと思います。なかでも植栽管理は 管理地及びその周辺を含め草刈り・剪定を業務基準以上に行いました。清掃においても管理地外の水路清掃など積極的に実施しました。	B	管理運営業務全般に渡り、仕様書に基づき適切に実施されている。特にバラ園では、仕様書以上の植栽管理が行われており、公園の利用促進に寄与している。
利用業務	B	利用調整・受付業務は適切に実施されたと思います。実施計画に及ばない項目もありましたが、ほぼ計画通りに実施できたと思います。しかしながら企画のマンネリ化で集客に結びつきませんでした。次年度は、イベントや体験・展示に新しい企画を考え実施して利用者の増加をはかりたいと思います。	B	利用者への対応は適切に行われているが、有料施設利用者数は減少している。自主事業は工夫し、積極的におこなっているが、来園者数は伸び悩んでいる。的確な情報提供により、効果的なPR活動の実施を期待したい。
その他業務	B	お客様のご要望に応じて休館日や時間外にも可能な限りの対応を行っております。また施設内での事故や災害には、常に注意を払い有事の際は、迅速に対応できるように心掛けています。	B	その他業務は、適正に業務が遂行されている。危機管理マニュアルも作成し、避難訓練の実施も行われており、職員各人の不測の事態への対応力の向上が図られている。
修繕業務	B	当初の計画通りの修繕とはなっていませんが、利用者の安全・安心・利便性を最優先に修繕業務を実施できたと思います。次年度は、前年度より計画にある修繕を早期に実施したいと思います。	B	優先順位をつけ計画的に実施されている。施設の老朽化が進んでいるため、先を見据えた早目の対応を行うことにより、施設の安全性を確保するとともに、費用の抑制に努めていただきたい。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
備品管理業務	B	適正に備品購入ができたと思います。管理においては備品台帳に沿って適切に管理、整備されていると思います。	B	備品管理については適正に行われており評価できる。新規備品の購入については、施設への貢献面からも積極的に実施していただきたい。
行政財産の目的外使用許可 手続業務	B	施設の設置目的の範囲内において適切な業務が行われたと思います。	B	自動販売機について適正な対応ができている。
自主事業	B	ほぼ計画通り実施をする事が出来ましたが、マンネリ化もあり集客や増収には結びついておりません。次年度は新しい企画を考え実施したいと思います。	B	多くの自主事業が企画・実施されている点は評価できる。今後は新たな来園者の確保や施設の情報発信のためにも、積極的に新しい事業に取り組んでいただきたい。
地域団体との連携	B	職場体験の受け入れや学校や施設等のイベントには粘土細工の出張体験などで積極的に参加をして連携・交流を図っております。また地域活動にも可能な限り参加し交流を深めております。	B	地域団体とは従来どおり良好な関係が維持できており、様々な取り組みが行えている。今後は新たな団体との協働も進めて、更なる情報交換や地域交流を深めていくことを期待したい。
利用者アンケート	C	多くの利用者の方にアンケートのご協力をいただく事ができました。このご意見を各種業務に反映させ利用者様のサービス向上に努めていきたいと思えます。	B	アンケート内容も問題なく、利用者からのアンケート結果も、概ね満足であるとの回答が多数を占めている。アンケート件数が少ないので、イベント時を活用するなど、1人でも多くの利用者にアンケートを実施し、アンケート結果を分析したうえで、利用者のサービス向上に努めていただきたい。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
事故・苦情	B	<p>バラ園の消毒に関してご意見をいただきました。対策として事前の告知看板の設置や時間帯を早めるなどを実施しました。また公園の危険個所には注意喚起の看板を各所に増設するとともに公園巡回の回数を増やして事故防止に努めました。今後も事故・苦情には迅速に対応が出来るように努めます。</p>	B	<p>定期点検や園内巡視により、危険箇所及び修繕箇所を把握し、事故を未然に防止することができている。引き続き、危険箇所の点検を十分に行い、維持管理体制の更なる強化に努めていただきたい。</p>
指定管理者の経営状態			適正である	
総合コメント（市）				
<p>指定管理者は、施設の特性を踏まえた管理運営に努めており、指定管理業務の履行が適切に実施されていると認められる。特にバラ園での植栽管理は充実しており来園者からの評価も高い。また、施設の老朽化に伴う修繕業務も計画的に実施され、利用者への安全性・利便性を考慮した取り組みが実施されている。しかし、かわら館観覧者、実習館体験者数ともに減少しており、有効な対策がとれていない。今後は、展示物の変更や新しい企画展を開催するなどしたり、利用者アンケート結果を反映させる等、より利用しやすい施設、体制を目指し、有料施設利用者が増加するような取り組みを進めていただきたい。</p>				